

試合番号 : 405	試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	観客数 : 0
開始時間 : 12:05	終了時間 : 14:22	試合時間 : 02:17
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 津嶋 由香	
デンソーエアリービーズ 通算 10勝 4敗 ポイント : 31	35 第1セット 33 25 第2セット 23 23 第3セット 25 25 第4セット 22 第5セット	ヴィクトリーナ姫路 通算 3勝 15敗 ポイント : 10
監督コメント 大変厳しい状況の中で、開催にあたりご尽力いただいている方々に感謝いたします。チームとして公式戦が1か月ぶりであること、調整期間が短かった点で不安面がありました。しかし、苦しい状況の中でもチームが1つになって戦えたと思います。サポートし合うことが今週のテーマなので、明日の試合を全力で戦い抜きます。本日はご声援ありがとうございました。	3	1 監督コメント リモートでの応援ありがとうございました。先週の試合内容に続いて、今週も良くなるために選手・スタッフがそれぞれ良い準備をして試合に臨めたと思います。非常にタフなゲーム展開の中でも、いかにボールコントロールの精度を落とさないかが勝敗を分けると、痛感させられた試合でした。明日に向けてまた新しい準備をして試合に臨みたいと思います。
要約レポート 第1セット、序盤から両者一歩も譲らない攻防が続く。中盤に連続得点があったものの、終盤は30点を超える熱戦となる。最後はデンソーエアリービーズ鍋谷のブロックポイント、ブラマーの攻撃で接戦をものにする。第2セット、ヴィクトリーナ姫路が連続得点で5-2とリードする。その後も姫路がリードを保ち、中盤を迎える。対するデンソーは鍋谷のサーブから流れを作り、4連続得点で逆転する。デンソーはそのままリードを保ち、セットを連取した。第3セット、後がない姫路の長いラリーを粘りのプレーで得点する。勢いそのまま真包の攻撃を中心に得点を重ね、デンソーにリードを許すことなくこのセットを取る。第4セット、デンソーはセッター田代の多彩なトスワークで姫路のブロックを翻弄し、ブラマーの攻撃で得点を重ねる。追いつける姫路は松本のサーブエースや、途中交代の金杉の攻撃により18-16と逆転に成功。その後も姫路は粘りを見せたが、最後はデンソー・ブラマーの攻守にわたる活躍でセットを奪い、セットカウント3-1でデンソーが勝利した。		

試合番号 : 406	試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	観客数 : 0
開始時間 : 15:10	終了時間 : 17:14	試合時間 : 02:04
主審 : 澤 達大	副審 : 浜野 陽一	
東レアローズ 通算 17勝 0敗 ポイント : 48	19 第1セット 25 19 第2セット 25 25 第3セット 23 25 第4セット 22 15 第5セット 12	NECレッドロケッツ 通算 13勝 4敗 ポイント : 40
監督コメント スタートからなかなか攻撃でリズムを作ることができ苦しい展開となりましたが、チーム全員で諦めずに攻めることで、後半にかけて勢いを取り戻すことができました。サイドアウトをしっかり取れたことが良かったと思います。明日の試合もチーム全員で勝利に向けて頑張ります。ホームゲームということでもたくさんの方々に協力いただき感謝いたします。明日もよろしく願います。	3	2 監督コメント 本当に悔しい敗戦となってしまいました。この戦いに向けてできる限りの最善の準備をしてきたつもりでしたが、後半にかけて東レの勢いと高いオリエティに押されてしまったことが反省点です。サーブという面では、試合を通して高い効果を出すことができたので、ブレイクに繋げるためのオフェンスの部分をもう一度見つめ直し、来週の試合に臨みたいと思います。本日もたくさんの方々の応援ありがとうございました。リモートマッチが続きますが、引き続き温かい応援をよろしく願います。
要約レポート 第1セット、序盤はNECレッドロケッツのサイド攻撃がテンポよく決まり、6-3とリードするも、東レアローズはクランを中心に7-7と同点に追いつく。終盤は両エースの打ち合いになり、最後はNEC古賀がアタックを決め、NECがセットを先取した。第2セット、NECは第1セットの勢いそのままに8-1と大量リードでファーストテクニカルタイムアウトを迎える。NECは攻めのサーブと粘りあるレシーブで着実に得点し、東レの追従を許さず、セットを連取した。第3セット、東レはセッターを白井に代え、速い攻めのサーブでリードを保ったまま14-11で中盤を迎えた。東レは2点リードのままセットポイントを握り、最後は石川がアタックを決め、セットを奪い返した。第4セット、両チーム第3セットと同じメンバーでスタートし、一進一退の攻防で試合は進む。終盤、東レは井上のブロックなどでリードを奪い、セットを連取し、フルセットに持ち込んだ。第5セット、両チームとも序盤から粘り強いレシーブから強打を繰り出し、互いに譲らない展開となったが、決定力で勝る東レが僅かなリードを守り切り、最後はクランが決め、フルセットの激闘を勝利で飾った。		

試合番号 : 407	試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)	観客数 : 650
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:01	試合時間 : 02:01
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 本間 明	
久光スプリングス 通算 8勝 10敗 ポイント : 27	25 第1セット 23 28 第2セット 26 20 第3セット 25 25 第4セット 23 第5セット	日立リヴァーレ 通算 5勝 11敗 ポイント : 13
監督コメント 今シーズンは神戸でのホームゲームが一度きりであり、本当にたくさんの方々の支えがあり迎えられたと思う。その方々への感謝を胸に、チーム丸となって挑んだ一戦であった。試合では日立リヴァーレのサーブに苦しめられ、点差が開く大変厳しい内容であったが、リザーブメンバーを含め選手全員が粘り強く、そして勝負強さを発揮してくれて勝ち取った。貴重な一勝であったと思う。コロナ禍の中、沢山の方に会場に足を運んでいただき感謝しています。少しでも試合を通じて、世の中に勇気や元気を届けられるように明日も戦い抜きます。本日もご声援ありがとうございました。	3	1 監督コメント 本日も沢山のご声援ありがとうございました。第3セットを奪い返し、以降は度々リードする展開があったものの、大事な場面で久光へ巻き返すチャンスを与えてしまったことが大きな敗因です。明日は良い流れを切らないよう、自分たちのプレーで戦い抜いて白星をあげたいと思います。今日は非常に悔しい内容でしたが、明日の岡山戦に切り替えます。引き続き、ご声援の程よろしく願います。
要約レポート ホームの久光スプリングスが日立リヴァーレを迎えた一戦。第1セット、久光は今村のスパイク、荒木のブロックでリズムを作りリードする。日立はタップ、オクム大庭のスパイクで流れを変えようとするが、久光がセットを先取した。第2セット、日立は入澤のサーブで久光のサーブレシーブを乱し得点を重ねる。久光は荒木のブロック、アキンラデウォのサーブで反撃する。メンバーチェンジで入った石井にボールを集めた久光が逆転し、セットを連取した。第3セット、日立はセッター小野寺が久光のブロック陣に的を絞らせないトスでリードする。久光は野本、石井のスパイクでじりじりと追いつけたが、終盤は日立が押し切り、セットを取り返した。第4セット、日立は序盤から第3セットの勢いそのまま久光を引き離す。久光は流れを変えようと戸江の懸命なレシーブで粘りみせ、同点に追いつき、最後は石井のスパイクで逆転し、ホームゲームを勝利で飾った。		

試合番号 : 408	試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)	観客数 : 590
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:59	試合時間 : 01:59
主審 : 千代延 靖夫	副審 : 岡田 崇	
岡山シーガルズ 通算 10勝 7敗 ポイント : 28	25 第1セット 20 25 第2セット 22 21 第3セット 25 25 第4セット 17 第5セット	トヨタ車体クインシーズ 通算 6勝 11敗 ポイント : 19
監督コメント 第1セット、大量ビハインドからの逆転が今日の試合の勝利を呼び込んだ。しかしながら第3セット、リードからセットを取られてしまったことのようにまだまだ課題を残すところがある。リードしている時のリズムが全てプレーでイメージアップにつながるよう目指しているが、どうしても力んでしまうことが多い。この部分を最重要課題として明日の試合に臨みたい。コロナ禍で大変な中、会場に足を運んでくださった皆様、またDAZNを通して応援してくださった皆様ありがとうございました。明日からもよろしく願います。	3	1 監督コメント 新型コロナウイルス感染対策をした上で、有観客の中で試合が開催できたことに感謝しております。ライト攻撃が機能していない中で、オフェンスを組み立てるのが難しい状況が続きましたが、数田や山形、安井等も着実に成長している中で、一つ一つの経験を積み重ねてリードを守り切り、劣勢を跳ね返すだけのチーム力を高めていけるよう努力をしていきます。来ていただいた方々に勝つ姿を見せられるよう、明日も頑張ります。本日はありがとうございました。
要約レポート 岡山シーガルズは堅実なレシーブから多彩な攻撃を任掛け、トヨタ車体クインシーズは両サイドのパワフルなスパイクとミドルのクイックで戦う。お互いの持ち味が出た試合となった。特に第1、第2セットは岡山の渡邊、金田のクレーンなスパイク、第3、第4セットはトヨタ車体の嶋原、数田のパワフルなスパイクが目を引きつけた。終盤には、新戦力の中本の活躍があり、岡山がセットカウント3-1で勝利を収めた。		